

9月20日、JAしまね雲南地区本部、共済連から交通事故軽減・防止のため、町にカーブミラー11基が寄贈されました。昭和47年からこの活動が始まり、累計1万2000基を島根県内の各市町村に寄贈されてきました。寄贈されたカーブミラーは、各地区の要望などを考慮して設置します。



▲勝田町長(左)と源之美常務理事副本部長(右)

交通事故防止のためにカーブミラー11基寄贈

令和元年度奥出雲町肉用種牛共進会開催

9月5日に、令和元年度奥出雲町肉用種牛共進会が、仁多中央家畜集会所(亀嵩)において、町内の畜産関係者約100人が集まり、賑やかに開催されました。

当日は、町内9地区と農業公社から21頭の出品があり、県や関係機関の審査員によって個体審査、比較審査が行われました。本共進会の上位7席までが、10月19日に開催される島根県種畜共進会に奥出雲町を代表して出品されます。

結果は次のとおりです。



▲特選賞を受賞した石原誠さん(右)とJALしまね雲南地区本部竹下常務理事副本部長(左)

順位	名号	出品者	支部
特選賞 首席	みつはな4	石原 誠	阿井
特選賞 2席	はつゆりみつ	佐藤 安則	亀嵩
特選賞 3席	ゆい2	勝田 律江	阿井
特選賞 4席	さちゆりひさ	佐藤 治巳	亀嵩
特選賞 5席	こゆき	福田 節子	横田
特選賞 6席	ふくみ9	三島 智幸	八川
特選賞 7席	たかみ	奥出雲町農業公社 繁殖育成センター	
団体賞 優勝	亀嵩支部		

奥出雲仁多米(株)で新米を初出荷

9月25日、奥出雲仁多米(株)のカントリーエレベーターから新米の出荷が始まり、出発式が開かれました。

内田康也管理部長から「春先の水不足や6月・7月の日照不足により心配もしたが、8月の天候回復により、無事に収穫することができた」と挨拶がありました。

奥出雲仁多米(株)では、注文が入ってから精米するというお客様ファーストで販売を行っています。

この日は、業務用5トンと店頭・通販用7トンを荷造りし、「令和元年産仁多米新米初出荷」の



▲農家の方が丹精込めて作られた仁多米が全国へ配送されます



お客様から奥出雲仁多米(株)届いた仁多米の感想

横断幕を荷台に張ったトラックで首都圏や関西方面へ配送されました。

9月25日時点で約2000件の注文が入っており順次、全国の仁多米ファンに送られます。

～100歳おめでとうございます～ 100歳をお祝い 祝詞・記念品を贈呈

9月17日、今年度100歳を迎える方のご長寿を祝い、勝田町長がご自宅や施設を訪問し、内閣総理大臣からの祝詞と銀杯、あわせて町からのお祝いの品をお贈りしました。

皆さんはとてもお元気で、笑顔で記念品等を受け取られました。

本町の9月1日現在での100歳以上の方は21名で、最高齢は104歳の方です。

【100歳になられる方】

- 磯田 春枝さん (三成)
- 永沼 千代子さん (三成)
- 内田 那美子さん (亀嵩)
- 木山 久利さん (横田)
- 松崎 クニヨさん (横田)

地域おこし協力隊員の任期満了

3年間ありがとうございました

地域おこし協力隊の福間芳行さんが9月30日付けで3年間の任期を終えられました。福間さんはウェブサイトクリエイターとして奥出雲町観光協会で、ロゴ、チラシ、ホームページの作成に取り組み、奥出雲町の魅力を町外・県外に広く発信し、観光振興に寄与されました。最後に福間さんにインタビューをさせていただきました。

この3年間で一番思い入れのある仕事は何ですか？

奥出雲町の観光公式ホームページを作成した事は大きな仕事でした。使用者目線に特化したサイトになっていて、国内・国外・町外など、使用者によって表示される内容が異なっています。その使用者によって必要な情報が手に入りやすい仕組みにしています。そして、体験メニューやツアーなど観光商品をウェブ上で注文できるようにした事は初の試みです。

今後の活動を教えてください。

Uターンする前から、奥出雲町に毎年帰って来ていました。帰る度に人が少なくなり、町が寂しくなるのを感じました。

そこで、東京でのウェブサイト作成などクリエイターとしての技術と経験を活かし、奥出雲町を元気づけたいと思い戻って来ました。今後は、東京と奥出雲町を行き来



▲福間さんが作成したチラシ

し、都会で見たり感じた最新情報を奥出雲町に合うようアレンジし、仕事として作成するチラシやウェブサイトに活かし、奥出雲町を盛り上げていきたいと思っています。

奥出雲町観光ガイド
<https://okuizumo.org/>



福間芳行さん
クリエイター名「ユウゲキシュ」で、依頼のあったチラシやウェブサイトを作成される予定です！



みざわ小さな拠点づくりの会



▲ボランティアスタッフの皆さん

三沢地区では、地元で唯一の商店が閉店したため、毎週木曜日、古民家オフィスみらいと奥出雲で地区の皆さんが集まる「買い物サロン」が開かれています。パン、卵、お惣菜等の食品やシャンプー、ティッシュ等の日用品がずらりと並び、その隣には、お茶やお菓子が用意され、交流スペースも設けてあります。このサロンは、日中一人で自宅におられる方や久々に友人に会う方など、人と人が交流する機会となり、気持ちを豊かにしてくれる場となっています。

サロンでスタッフをしているのは、地元のボランティアの方々。レジを打ち会計をするだけでなく、「昨日は病院だった?」「今日はいちじくを煮てきたよ」という何気ない会話から話し相手になったり、場を和ます役割も担っています。

また、月に一度、サロンに合わせ季節の食材を使用した料理を作って食べる食事会も開催されています。

みざわ小さな拠点づくりの会では、全住民アンケートによる課題の洗い出しや気軽に話のできる場づくり、地区の課題解決やみなさんの「やってみたい。」を支援することなどに取り組まれます。



▲買い物をしている様子